

## 宮寺・二本木地区 小学校統合に対するご意見と対応方向について

宮寺小学校と狭山小学校の統合に対しては、多くのご意見をいただきました。

そこで、主なご意見、計画の概要と根拠については、パブリックコメントの意見一覧とは別に、まとめてご説明することといたしました。

主なご意見、計画の概要と根拠については、以下の通りです。

### 【主なご意見】

- 小学生に対して、通学距離が遠くなるのは負担が大きすぎる。
- 児童数の減少を考えると統合はやむを得ないが、通学上の安全確保ができないと認めることはできない。
- 統合するのであれば、地域の間付近に移転新設する案としてほしい。
- 小規模校の良さもあり、両校残すという選択肢もあるのではないか。

### 【計画の概要】

- 宮寺小学校と狭山小学校の統合は、原案でお示した通り、第1期の下半期に行う計画としました。
- 統合する場所は、原案でお示した通り地域の中央付近に移転新設する計画としました。なお、第2案としてお示していた狭山小学校を活用する案は計画からは削除しました。
- 用地取得については、2019年度から着手することとしました。
- 2019年度から、地域の方々と通学上の安全確保や防災・防犯等の課題について、協議を行うこととしました。

### 【計画の根拠】

- 移転新設の場所は、地域の中央付近を検討することとし、両地区に出来るだけ負担の少ない場所を確保したいと考えています。
- 2019年度から、地域の方々と協議を行い、通学上の安全確保や防災・防犯等の課題の解決策について共通認識を図りながら事業を進めることとしました。
- 小規模の学校にも大規模の学校にも、メリット・デメリットがあるものと考えています。メリットとして、小規模の学校では、児童・生徒一人ひとりに目が行き届き、きめ細かな指導が行いやすいこと、大規模の学校では、集団の中で多様な考え方に触れ、切磋琢磨し、一人ひとりの資質や能力を伸ばしやすいことなどがあげられます。これを比較して、児童・生徒の学習環境の向上、教育水準の維持のためには、統合してある程度の規模の学校にすることが望ましいと判断しました。